



シリーズ” 便利さ” の行方

山田征&アーサー・ビナード対談

『「暮らし方」の「選び方」

～本当になくってはならないもの?!～

50年前の三種の神器、テレビ・洗濯機・冷蔵庫を皮切りに、今やスマホにパソコン、電子機器が搭載された様々な家電に囲まれる私たちの暮らし。この過剰なほど便利な社会が行き着く先は何か。長年、主婦の立場から原発と再生可能エネルギーの危険性を訴えてきた山田征さんと小さな生き物たち目線の絵本を創作・翻訳されてきたアメリカの詩人 アーサー・ビナードさんにお話いただきます。ぜひ、ご参加ください。

◎日時: 10月15日(金) 18時~21時(開場:17:45) 予約不要・先着順

◎会場: 北海道クリスチャンセンター チャペル (札幌市北区北7西6) 定員40名

◎参加費: 2000円 ※スマホ・携帯電話を所有されていない方【特別割引!】1500円

お問合せ: whats.everything@gmail.com 主催: what's <https://whats-everything.jimdofree.com/>



★ アーサー・ビナード Arthur Binard ★

詩人。1967年、アメリカの五大湖に囲まれたミシガン州生まれ。父親とたびたび釣りをして川と湖の生き物に魅せられる。高校生のころから詩を書き出し、ニューヨーク州コルゲート大学で英文学を学ぶ。卒業と同時に来日、日本語でも詩作を開始。2001年に第一詩集『釣り上げては』(思潮社)が中原中也賞に選ばれる。絵本に『ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸』(集英社)、『さがしています』(童心社)、『ドームがたり』(玉川大学出版部)など。文化放送のラジオ番組「アーサー・ビナード 午後の三枚おろし」が平日の午後15時に放送されている。日米の歴史や経済についても言及し、社会問題に対する提言でも注目を集める。2012年広島文化賞受賞。

★ 山田征 (やまだせい) ★

1938年生まれ。40年以上前から市民の立場で原発反対の活動をする。同時に、沖縄県石垣島白保の空港建設反対、内モンゴル植林、イラクやパレスチナ・ガザへの支援等、多様な活動を行う。著書に『山田さんのひとりNGO』、『ただの主婦にできたこと』ご存知ですか、自然エネルギーのホントのこと』『光と影のやさしいお話』ほか。月に一度、学習会「菜の花の会」を主催。

※ 同日14時より、みんたる(北14西3)にて地球環境問題をテーマに講演会あります! 1500円(1ドリンク付き)お申し込み: ゲーマンさん 080-6400-6030